

「手芸」誕生——バン格拉デシユの刺繍布カンタから

五十嵐 理奈 いがらし りな 福岡アジア美術館学芸員



1909年に娘の結婚祝いとして製作された敷物カンタ
(所蔵：Jahanara Abedin、写真提供：福岡アジア美術館)

一見、時代を問わない普遍的な手仕事であるかのように感じられる「手芸」。しかしそれは日本だけではなく、バン格拉デシユでも意外と新しい手仕事のあり方なのだ。国づくりや経済状況とかがわかってあらたに誕生したバン格拉デシユの「手芸」を追う。

概ね共通認識される「手芸」という日本語だが、バン格拉デシユで話されるベンガル語にはピタリと当てはまる語がない。類する語としては、手仕事全般を指すハテール・カージ、手工芸を意味するホスト・シルポ、そしてインドと同様に開発援助行政のなかで使われる英語のハンディクラフトなどがある。では、「手芸」に当たる語はなくとも、「手芸」的な造形活動はあるのだろうか。ここでは、バン格拉デシユの女性が農閑期に家庭内で作ってきた手仕事の刺繍布カンタを例に、「手芸」とよべる領域があるのか探ってみよう。

刺し子の刺繍布カンタ

カンタとは、バン格拉デシユとインド西

ベンガル州にまたがるベンガル地方で作られてきた刺し子の布である。着古して柔らかくなったサリーやドーティー、ルンギなどの腰巻布を四、五枚重ね、全面に並縫いを施して布を丈夫にし、掛け布団や敷布などに作り変えた日用品である。あらゆる宗教、階層、年齢のベンガル女性が手がけ、その家族や親戚が私的に使うもので、売買されることはなかった。なかには数年がかりで多様なステッチを駆使して鮮やかな文様を刺繍した装飾的なカンタもあり、それらは嫁入り道具として、また結婚式や宗教儀礼など特別な日に用いるものであった。しかし、これを「手芸」とはよび難い。この布が個人的な趣味や生活のゆとりから作られたものではなく、地域社会に存在す

る必然性と役割をもつためである。女性たちは布をリサイクルして自分たちの手で布団を作らねば暮らせなかったし、また、良いカンタを作る母親の娘は理想的な嫁になるという嫁選びの指標としても機能していたため、母親と娘、娘と嫁ぎ先の家族とを結ぶ社会的な役割も果たしていた。この地域社会に生きるうえで、カンタを作らないという個人的な志向による選択肢は、二〇世紀中ごろまではほぼなかったといえよう。こうした状況が一変するのは、カンタが商品化された一九八〇年代のことである。

カンタの商品化

一九七一年のバン格拉デシユ独立後、カンタはバングラデシユを代表するハンディクラフトとして、経済的価値をもつ商品へと変貌した。それはイギリスとパキスタンからの二度の独立という政治状況と、



商品カンタを製作する女性(1999年)

戦後の経済的な困窮状況を反映して起きたことだった。一九六〇年代、パキスタンからの独立運動が盛んになるなか、文化人や美術家は、ベンガル農村の手仕事カンタこそが新生バン格拉デシユの文化的・政治的独自性を象徴する「民俗芸術(ロク・シルポ)」であると価値付けた。イギリスからの独立の混乱のなかで失われ、忘れかけられていたカンタがにわかに脚光を浴びるようになったのである。その後、一九八〇年代になると、今度は国内の女性活動家や国内外のNGOが、パキスタンからの独立戦争で夫を亡くし生活手段を失った女性たちの生活再建をめざし、刺繍技術を応用してカンタの商品化に着手した。開発援助行政と連動したハンディクラフト生産プロジェクトは、カンタを現金収入を生む、経済的な価値をもつ布へと変化させたのである。

ハンディクラフトと「手芸」の誕生

刺繍する行為が現金を生むようになると、女性たちは、これまでのように家族のために装飾的なカンタを作らなくなった。カンタが果たしていた社会的役割は、ハンディクラフトを作っていた現金で、布団を手に入れ、娘の嫁入り道具を買い揃え、娘にも教育を与えて良き嫁に育てることで代替さ



NGOのハンディクラフト・センターで学んだステッチと糸で作った家庭用の「手芸」的な枕カバー(1999年)

れたのである。そして、現金収入をえるためのカンタ製作が定着してきたころ、今度は女性たちのなかに、家庭用のテーブル敷きにワンプイント刺繍をしたり、

商品カンタを作るためのトレーニングで習った新しいステッチを使って、枕カバーを作ったりする人があらわれてきた。それはかつて嫁ぐ娘のために何年もかけて縫い上げた刺繍布ではない。暮らしに彩りを加えるちょっとした工夫、家事の間に生み出された刺繍布である。これこそが「手芸」的な造形活動ではないだろうか。バン格拉デシユにおける「手芸」とは、商品化という資本主義制度の導入によって、手仕事が民俗芸術的価値付与を背景に商品となったハンディクラフトと、家庭で趣味的に楽しむ「手芸」とのふたつに分化し、同時期に誕生したものである。